

おきさちさんのコラム

ナチュラルクリーニング

〈今回使ったアイテム〉

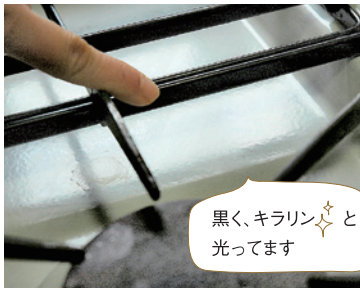
- 重曹
- パウダーリンス(クエン酸)
- 酸素系漂白剤



その②「住んでいる間に、だんだんきれいになっていくお掃除法」

お引越しが1年で一番多いこの時期は、退去後のハウスクリーニング屋さん也大忙し。ですから、入居してみると、ん？汚い？ということも。たった2時間で1軒を掃除して回るそうで、すべての箇所を完璧にするのは厳しいそうです。我が家も入居時、コンロの五徳に油と焦げがこびりつき、トイレの便座の継ぎ目には茶色い尿石が詰まっていた、気持ち悪かった覚えがあります。これらの汚れは、時間や手間をかけないと落ちないので、強力な洗剤を使ったプロでも、限られた時間では難しかったのでしょう。

ところがナチュラルクリーニングを始めてから、重曹水(カップ1杯200ccの水に重曹小さじ2、3杯溶かしたもの)を、食品をこぼすたびにコンロ周りにスプレーしていたら、焦げの塊がゆるんで、パリパリと剥がれてきたのです。とうとう数か月で、五徳の地が姿を見せ、今ではピカピカです。五徳の焦げや



油汚れは、本当は重曹水で煮洗いするのが一番効率的ですが、古いシステムキッチン、五徳が大きくて鍋に入らないのです。重曹に熱の力が加わると素晴らしいパワーを発揮しますね。

トイレの便座も、クエン酸水(カップ1杯200ccの水に、パウダーリンス小さじ2杯を溶かしたもの)をスプレー容器に入れて、トイレトーパーをかぶせてから吹き付けて、一晚湿布したら……なんとガリガリの茶色い尿石が、液体に

なって溶けてきました。便座の裏も新品同様、これで前の入居者の方がつけた汚れがなくなり、私の家になった！と嬉しかったです。



畳やフローリングは、酢水(酢と水を1:1で混ぜたもの)で拭いておきましょう。クエン酸水は揮発しないため、べたつきが残るので、畳や家具など、水回り以外の場所には不向きです。

お風呂の排水溝がもし汚かったら酸素系漂白剤をかけて、50℃くらいのお湯を注いでおき、翌日古歯ブラシでこするだけできれいになります。

お引越しはただでさえ疲れるもの。体に疲れを残さないよう、お掃除はぼちぼちいきましょう。住んでいる間に、だんだんきれいになっていく、そんなお掃除法の手を借りながら、ね。

実は私も今月引越しです。ナチュラルクリーニングのおかげでピカピカのこの家に12年間ありがとう。そして次に住む家はずっと古い(笑)。でも、きれいにするのが楽しみです♪



興 幸子(おきさちこ)さん

大学で天然物化学を専攻し、製薬メーカー、調剤薬局に薬剤師として勤務。安全で気持ちの良い生活法を提案する「ナチュラル家事」の講師として各地で講演中。薬剤師、社団法人アロマ環境協会認定アロマセラピーアドバイザー、ハウスキーパー協会認定整理収納アドバイザー